

## 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	浅間山麓文化・芸術発信事業
事業主体 (連絡先)	御代田町 浅間縄文ミュージアム (0267-32-8922)
事業区分	(6) オその他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,001,668 円 (うち支援金: 1,367,000 円)

### 事業内容

浅間縄文ミュージアムを主体にした浅間山麓の文化・芸術の発信事業。

ともにネイティブな文化遺産であるアフリカンアートと縄文遺物の対比展示を2月～3月にかけておこない、アフリカンアートの講演会や音楽ワークショップを実施した。

あわせて町史跡宮平遺跡に説明版を設置し、浅間縄文ミュージアムと縄文遺跡のフィールドをつないだ。

また、「浅間路の山頭火」と題し、山頭火の信濃の旅について数多くの板画作品を残している森獺郎氏（日本板画院会員）の作品28点の展示を行い、あわせて講座を実施して、来館者に信濃（浅間山麓）の俳句文学と芸術の世界を鑑賞いただいた。



【アフリカンアートと縄文展  
展示状況】

### 【目標・ねらい】

- ①多様な文化・芸術の発信
- ②浅間山麓の縄文文化の紹介
- ③地域アーティストの活動展開
- ④冬季の観光人口の創出

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

博物館での従来の歴史系展示にとらわれず、アフリカンアートや俳句板画など多様な芸術の展示を行い、前者では1393人、後者では1143人の見学があった。

また、アフリカンアートとコラボレーションした縄文文化の展示を行い、縄文遺跡の説明版を設置してフィールドでの縄文文化の紹介をおこなった。

「音あそび」では、地域のアーティストによるワークショップを開催し、子供から大人、あるいは障害のある方など多様な参加があった。冬季観光者といった点では、3月に1393人の来館者があり、平成28年3月の822人を上回った。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

平成29年度も、ミュージアムにおいて多様な展示を展開し、話題作りを行うとともに、人の流れが少ない冬季なども含め多くの観覧者に訪れていただけるよう「浅間山麓文化・芸術発信事業」を継続して実施する。

### ※自己評価【B】

#### 【理由】

各種事業については、展示の多様性を生み出し、一定の観覧者増が得られた。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある